

はまかいじ号で行く 夏の富士急行旅行

中学1年 田辺泰隆

1.はじめに

新入生の田辺です。これから卒業まで、この本に旅行記を書き続けたいと思っています。よろしくお願いします。

今回は8月18日に祖父と行った旅行について報告します。

2.行程

今回の行程は、以下の通りです。

- ① 川崎→横浜 : 東海道本線
- ② 横浜→大月 : 京浜東北～横浜～中央東線 特急はまかいじ
- ③ 大月→富士山 : 富士急行 ホリデー快速河口湖
- ④ 富士山→河口湖 : 富士急行 ホリデー快速河口湖
- ⑤ 河口湖→大月 : 富士急行 富士登山電車
- ⑥ 大月→河口湖 : 富士急行 フジサン特急
- ⑦ 河口湖→大月 : 富士急行 ホリデー快速河口湖
- ⑧ 大月→新宿 : 中央東線 ホリデー快速ビューやまなし
- ⑨ 新宿→品川 : 山手線
- ⑩ 品川→鶴見 : 京浜東北線

3.旅行記①② ～横浜 4 番ホームから大月へ



① E233 系

現在の J R 東日本の通勤電車。最近は多くの首都圏近郊路線に投入されている。(川崎駅にて)



② 185 系

国鉄が最後に造った直流特急電車。現在は、踊り子・湘南ライナー・普通はまかいじ・各ホームライナーの運用についている。(横浜駅 4 番線にて)

朝 6 時 43 分、僕は川崎駅を発車する普通小田原行きに乗って横浜に向かった。車両は E233 系だった。

横浜に着いたらサンライズ号が停まっていた。サンライズ号を撮り終わると僕たちは、駅弁を買い 4 番ホームへと向かった。4 番ホームには時間がたつに連れ人が集まってきた。はまかいじ号に乗る人たちだ。

はまかいじ号は 185 系を使った京浜東北・横浜線経由の松本行きで横浜線を通る唯一の特急電車でもある。横浜を出ると新横浜・町田・橋本・八王子・大月・勝沼ぶどう郷・塩山・山梨市・石和温泉・甲府・韮崎・小淵沢・富士見・茅野・上諏訪・下諏訪・岡谷・塩尻・松本に止まる。

僕たちは普通車指定席に乗って大月まで行き、車内でシウマイ弁当を食べた。いつも通りの変わらないおいしさだった、ちなみに車内販売は横浜～松本の内、八王子～松本の間のみだ。

3.旅行記③④ ～富士の裾野の河口湖へ～



③ 189系

豊田車両センターに1編成しかないあずさ色の車両。検査時には長野車両センターのあさま色等が充当されることもある。(富士山駅にて)



④ 183系

JR東日本のジョイフルトレイン改造の種車に最も多く使われている車両。残念ながら年々減少している。(富士山駅にて)

大月ではまかいじから降りると、大急ぎで富士急行の改札に行ってフジサン特急フリーきっぷを買った。この切符は有効期限が2日間で全区間乗り放題。勿論、フジサン特急も乗り放題で料金は2200円という破格の安さだ。(大月～河口湖の料金は1100円)。

購入した切符を使ってJRのホームから、新宿発のホリデー快速河口湖号に乗った。河口湖駅に向かったが、河口湖駅での乗り換えが面倒くさくなったので、途中の富士山駅で降りた。富士山駅はデザイナーの水戸岡鋭治氏がデザインした素晴らしい駅舎だった。

後続の列車が来るまでは、向かい側のホームの列車(国鉄115系普通高尾行き)を撮りながら待っていた。

やがて到着した小山発武蔵野線経由の臨時ホリデー快速河口湖号に乗り河口湖に向かった。車両は国鉄カラーだった。

河口湖に着くと、この後の行程の列車の切符を買った。

電車から離れて、河口湖見物と昼飯を食べに行く。

昼飯はうな重。僕の好物で、とても美味しかった。

3.旅行記⑤⑥ ～富士急行の観光列車たち～



⑤ 1000 形

富士山駅と同様にこれも水戸岡鋭治がデザインした車両でほかの1000



⑥ 2000 形

元国鉄のジョイフルトレインで、今はフジサン特急として第二の人生を

河口湖駅に戻る途中で雨が降りだした。幸い傘を持っていたが、せっかくの旅行が台無し。どれだけ祈っても雨は止まなかった。

そんなこんなしているうちに、富士登山電車はやってきた。富士登山電車は2両編成で1号車が青富士号、2号車が赤富士号となっている。これに乗るには乗車整理券が必要だ。(200円するのだが、買っても全車自由席なので座れない場合もあるので注意が必要)

乗ってみるとすごい木を使った車両でどこか温もりを感じた。走り出すとアテンドによるガイドあり、車内販売もあり、ですごい賑わっていた。こういう雰囲気、僕は嫌いではない。(むしろ大好き)そして、賑やかな電車は大月駅に着いた。

大月駅に着くと向かい側に停まっているフジサン特急の自由席に座った。車内は元全車グリーン車指定席だけあって座席にゆとりがあった。また車内には古いテレビがあり今のトレインビジョン的な役割を果たしていた。フジサン特急は今年で10周年。鉄道好きには一度は体験してもらいたい車両だと思った。

3.旅行記⑦⑧⑨⑩ ～富士の裾野から副都心へ

日も暮れ始めた。後は新宿に帰るのみとなった。

僕たちは行きに乗ってきた車両(③)とおなじ車両で大月まで出た。この車両は新宿行きだ。なぜここで降りたかというと単に後続の列車、ホリデー快速ビューやまなし号の215系に乗りたからだ。はまかいじをもう一度撮りたかったことも理由のひとつだ。

大月で待つこと約1時間。

やっと到着したホリデー快速ビューやまなし号に乗って新宿に向かった。車内で見た山梨の夕暮れが目に染みた。

高尾駅を通過すると、すれ違う車両も首都圏の通勤型車両になってくる。八王子駅近くになれば車窓もさっきまでの山ばかりとは違い、建物が密集する都会のものへと変わってゆく。

そして列車は、立川駅、三鷹駅の順に停まっていき終点の新宿に到着した。あとはもう、川崎まで帰るのみだ。僕たちは山手線のホームへと向かった。



⑧ 215系

JR東日本の誇るオール2階建ての車両で定期運行は湘南ライナー・おはようライナー・ホリデー快速ビューやまなしのみとなっている。(新宿駅にて)

ミニコラム：はまかいじのHM



ヘッドマークには富士の山のブドウと横浜のカモメが描かれている。横浜から甲斐方面へ向かう行楽列車であることを示している。

(大月駅にて)

4.おわりに

以上で今回の旅行記を終わります。

来年もたくさん電車に乗って、旅行記を書く予定です。

今後もよろしくお願いします。

中学1年D組 田辺 泰隆



サンライズエクスプレス



リゾートエクスプレスゆう



115系サカ色



115系長野色



はまかいじとビューやまなし



スーパービュー踊り子